

総論

満点	50点	目標得点	34点	試験時間	60分	偏差値	71
大問数	6	小問数	46				
	【解答形式】	選択式	19/46問	記述式	16/46問	正誤式	11/46問
	【問題難易度】	C	8/46問	B	13/46問	A	25/46問
※問題難易度：C難問、B合否を分ける問題、A正答すべき問題、を示す							

Topics

- 1：細かい所までの学習を！ 上記の問題難易度を見ると、C難問も多かったが、B合否を分ける問題の割合が高い。基礎力はもちろんやや細かい所まで学習を進めておく必要がある。
- 2：全時代・全ジャンルの網羅 原始から近代まで幅広く、また政治・外交・社会経済・文化と例年さまざまなジャンルの問題を出してくる。戦後史からも出題され始めたので気をつけたい。
- 3：文化史を完璧に 今年度は原始時代の出題はなかったが、例年は出していた。また最後の大問は必ず絵画史を中心とした文化史である。ここは完答を目指したい。

こんな力が求められる！

選択問題においても、通常の問題パターンと異なり、やや思考をめぐらせての選択が必要である。また正誤問題は、早稲田特有の「2つ選べ」というものもあるため、早稲田の過去問を文学部に限らず他学部のも多くこなし、「早稲田の正誤問題」が見極められるようにする必要がある。単に暗記するだけでは合格できないので、教科書を読み、歴史を把握した上で、正誤問題を数多く取り組むと良い。

参考図書

学校の教科書(とくに三省堂の教科書をよく読む)。早稲田の国際教養学部以外の過去問(最低5年分は解く)。

大問別分析

【I】

予想配点	8 / 50点	時間配分の目安	11 / 60分
出題分野・テーマ	世界遺産に関する問題		
出題形式	選択3問・記述1問・正誤3問		
小問別解答と難易度	※問題難易度：C難問、B合否を分ける問題、A正答すべき問題、を示す 1 イ(法隆寺)B 2 原爆ドームB 3 ア・オ(アの選択は容易、エ・オの選択で迷うが、国立公園ではなく国営公園なのでエは誤り)C 4 エ(『おもろそうし』は琉球の古代歌謡)B 5 エ(島根県—16~17世紀)A 6 ア(百舌鳥・古市古墳群は大阪府)B 7 ウA		
お茶ゼミカリキュラム・テキストとの関連	3月期①1・3・4日目、3月期②2日目、5月期2・3回目、夏期講習文化史4日目		

●解答のポイント&学習対策等

世界遺産をテーマにした講義はないため、総合力が問われる。山川の教科書の冒頭に世界遺産に関する記述があるので、読んでおきたい。正誤問題では説話なのか歌謡なのか、奈良なのか大阪なのかという、

Benesse お茶の水ゼミナール

細かい判断が問われている。

【Ⅱ】

予想配点 9 / 50 点	時間配分の目安 11 / 60 分
出題分野・テーマ 元明・元正両女帝の時代	
出題形式 選択4問・記述3問・正誤1問	
小問別解答と難易度 ※問題難易度：C難問、B合否を分ける問題、A正答すべき問題、を示す 1 イ(2人の女性は親子) B 2 A—銀A B—銅A 3 ウ(250)(乾元大宝の958年から和同開珎の708年を引く) A 4 イ(『日本書紀』は720年編纂、『古事記』は712年編纂) A 5 エ(『宋書』倭国伝に記載) A 6 エ(弥生時代の大環濠集落で、佐賀県の吉野ケ里遺跡を想起) B 7 万葉集(大伴家持が編纂とされている) A 8 ウ(吉備真備と玄昉が橘諸兄政権を補佐) A	
お茶ゼミカリキュラム・テキストとの関連 3月期①1・2・4日目、3月期②2日目	

●解答のポイント&学習対策等

正誤問題が少なく、高得点を取りたいところ。元明天皇と元正天皇が親子であることや『日本書紀』に載っていない史料を選ぶ問題や肥前国を答える問題は、既存の知識からの思考力を試され、良問と言える。教科書を考えながら精読することを望む。

【Ⅲ】

予想配点 8 / 50 点	時間配分の目安 11 / 60 分
出題分野・テーマ 中世の産業史	
出題形式 選択2問・記述3問・正誤3問	
小問別解答と難易度 ※問題難易度：C難問、B合否を分ける問題、A正答すべき問題、を示す 1 福岡A 2 問丸A 3 エ(所領を質入れするなど貨幣経済に巻き込まれた) B 4 エ(荘園領主や寺社も賦課した) C 5 ア(大山崎離宮八幡宮と油座) A 6 イ(一乗谷が城下町、宇治が門前町、安濃津は現在の津市で港町) B 7 ア(国質・郷質は廃止された) C	
お茶ゼミカリキュラム・テキストとの関連 4月期4回目、5月期2・4回目	

●解答のポイント&学習対策等

差がつく社会経済史である。小問3と6が取れるかがポイントであろう。とくに6などは暗記すれば解ける問題なので、早いうちから暗記をしっかりとしておくといよい。

【Ⅳ】

予想配点 8 / 50 点	時間配分の目安 11 / 60 分
出題分野・テーマ 文治政治	
出題形式 記述3問・正誤4問	
小問別解答と難易度 ※問題難易度：C難問、B合否を分ける問題、A正答すべき問題、を示す 1 ウ・エ(ウは参勤交代を想起、エは島原の乱を想起) C 2 文治A 3 イ(家綱が将軍就任前) C 4 ウ(将軍の代替わりごと) A 5 殉死(寛文の二大美事) B 6 オ(関ヶ原の戦い以後に臣従した大名) A 7 証人B	
お茶ゼミカリキュラム・テキストとの関連 6月期1・2・3回目	

Benesse® お茶の水ゼミナール

●解答のポイント&学習対策等

難問にとらわれず、比較的簡単な正誤問題や記述問題で得点したい。受験本番は緊張しているので難問に出会うと焦ると思うが、そこで簡単な問題が取れるためには、受験までにたくさん問題をこなしておくとい。問題量に比例して、見極める目が養われる。

【V】

予想配点 10 / 50 点	時間配分の目安 11 / 60 分
出題分野・テーマ 近現代の民衆史	
出題形式 選択6問・記述4問	
小問別解答と難易度 ※問題難易度：C難問、B合否を分ける問題、A正答すべき問題、を示す 1 二分五厘B 2 エ(コレラは明治10年代に流行)C 3 オC 4 原敬A 5 ウC 6 ア(体操、ラジオから類推)B 7 小林多喜二A 8 ウ(「リンゴの唄」は「そよ風」の挿入歌)B 9 公害対策基本法(1967年)A 10 イ(安部公房)C	
お茶ゼミカリキュラム・テキストとの関連 7月期4回目、夏期講習近現代Ⅱ2日目、9月期3回目、1月期2回目	

●解答のポイント&学習対策等

コレラは三省堂の教科書では太字で書かれており、早稲田の入試では注目すべき用語である。ここは民衆史という細かい問題で難問も多いため、基本問題を確実に得点することが必要である。そしてこのような所もきちんと教科書に目を通しておきたい。

【VI】

予想配点 7 / 50 点	時間配分の目安 5 / 60 分
出題分野・テーマ 古代から近世までの文化史	
出題形式 選択4問・記述3問	
小問別解答と難易度 ※問題難易度：C難問、B合否を分ける問題、A正答すべき問題、を示す 1 ア(吉祥天)A 2 オ(空海)A 3 イ(狩野)A 4 ウ(等伯)A 5 鑑真A 6 唐招提寺A 7 十便十宜A	
お茶ゼミカリキュラム・テキストとの関連 夏期講習文化史4・5日目	

●解答のポイント&学習対策等

すべて基本問題なので、完答を目指したい。文化史は暗記系が多いので、早いうちから得点源にしておくべきである。